

# 私たち女性の考えをしっかりと受け止めて!

## 女性議会開催

女性の方々が議会制度を自ら体験し、議会への関心を深めてもらうことを目的に、町議会広報編集特別委員会（澤田義春委員長）主催による、積丹町女性議会が5月26日、役場議会議場で開催されました。

女性議員には、一般公募により選ばれた10名が、通常の定例町議会で行われている一般質問形式と同じ方式で行われました。議会冒頭、澤田委員長から「少子高齢化が進む現代、活力ある社会実現のため、性別に関係なく、個性と能力を発揮できる社会の構築が重要。活発な議論の展開をお願いします。」と挨拶がありました。

女性議員10名のうち、7名が質問に立ち、初めは緊張した面持ちながらも「子どもの安全確保対策と環境づくり」や「滞納者対策」、「観光施設の安全整備」、「地域医療の充実確保」など女性ならではの視点から、さまざまな質問が出されました。

また、益子町長からの答弁に対して、更に厳しい再質問をする議員も出るなど議論活発な女性議会となりました。

今回参加した10名の女性議員の皆さんから感想をいただきましたので紹介します。

なお、質疑応答については、別途議会だよりにてお知らせします。

### 1番 葛西幸子議員(美国町)



町商工会女性部が進める、住みよい町づくりのリーダーとして活躍できる場の研修の一環として参加しました。

理事者、議員のご苦勞が良く分かり大変勉強になりました。議員の方々には全員が出席して私たち女性の思いを聞いて欲しかったです。ただ観光に携わるものとして自分なりの思いやさまざまな振興方策に対する希望、要望などを述べる時間がもう少し欲しかったと思います。

### 2番 田中仲子議員(余別町)



これまで議会を傍聴した経験もない中でとても不安な気持ちになり、いざ質問をする必要を話すだけで、再質問も緊張のあまり的確に言えず後悔することが多かりました。町長からの答弁を聞いて、

厳しい町行財政の実態を私なりに理解する事ができたと思います。これからは議会を傍聴しさまざまな面から勉強しなければならぬと強く感じました。また議員の方々は、今回の女性議会を傍聴して欲しかったです。今後は、議員と女性団体との意見交換の場を設けることができればと願っております。

### 3番 小澤輝子議員(余別町)



これまで議会の傍聴経験はありませんでした。議会とはどういったものなのか一度触れてみたいと思いましたが、今回は参加しました。

今回は、できるだけ議会の傍聴へ足を運び、また町民の方々にも議会でのやりとりについて聞いてほしいと思いました。今後は、実際に議員席から質疑のやりとりを見て、議会の雰囲気を感じることができたことは良い経験となりました。

### 4番 堀由美子議員(美国町)



通常の議会での一般質問方式であったことから、こちらからの質問事項は、予め町側へ通告されており、町長からの答弁については、詳細にわたりわかりやすく説明していただきました。

ただ、慣れない緊張する中で、一人で答弁のすべてを書き記しながら把握することは難しく、答弁に対して的確な再質問ができず大変残念でした。可能であれば答弁書についても予め配布したり、質問者側を複数人にするなどの配慮があれば、もっと有意義なやりとりができたのではないかなと思いました。

5番 杉野千晴議員(日町)



保育行政に対する町の考え、意思確認のため、今回参加しました。町の財政状況が厳しいことは十分に理解しているところですが、子どもを預けている親の心情として保育環境の

充実を望むもので、これからも適正で安全な保育環境づくりを強く希望しています。

議会の傍聴経験がなく、重く張りつめた雰囲気の中で、質問又詳細にわたる答弁に対する再質問には、一人での対応は慣れない中では難しいと感じました。こういった実施状況については、ぜひ町民に目に見える形で公表してほしいと思います。

7番 佐藤弘美議員(野塚町)



積丹町の歴史を生み出してきた神聖なる議会に、身を引き締まる思いがしました。町財政ひつ迫の中、町民のため日々努力している町長はじめ職員

の皆さんに感謝申し上げます。

物事を決定し推進するには、時間と忍耐を必要とする中で町民のより良い生活のため苦労している様子をうかがい知ることができました。女性だけではなく、青年や一般にも声をかけて、また議会の場を設けていただきたいと思います。

9番 高杉トシ子議員(美園町)



議会の傍聴をしたことがなく、今回議員といたことで議員席にいたときは感動を覚えました。

会を設けていただいたことにも感謝しており、女性ならではの思いの一端を分かっていたのでないかと思っています。だからこそ今回議員の皆さんには出席していただきありがとうございました。議員の皆さんには、今後とも町の発展のためより建設的な議論を期待しております。

6番 鳴海みな議員(入町)



議会議場に入るのは初めてで、町議会議員の方々は、この神聖な場所で町発展のため、さまざまな問題解決に頑張っておられるのだ

と思い、議会の雰囲気を感じました。

質問に対し、わかりやすく親切に答弁してくださいました町長、そして私たちに普段の思いを直接伝える機会を「女性議会」という場で与えてくださいました議会広報委員会の方々に感謝申し上げます。

8番 俵谷登美江議員(野塚町)



議会の傍聴経験もないうちで、議員席に座ったときの町理事者側と傍聴席の前後からの視線には大変緊張しました。

ささまざまな質問に対する町長からの答弁をお聞きし、町と町民との果たすべき役割についてある程度理解でき、これまでのような役場任せではなく、自分たちで出来ることは、自分たちで処理することの必要性を感じました。女性団体の中では、議員の皆さんとまた別な形で、女性の考えや町の活性化などについて話しあうことが出来る懇談の場を持てればと話しています。その中で、今回議員の皆さんには、傍聴していただきたかったと思いました。

10番 戸来和子議員(美園町)



今回の女性議会は、私たち女性が町政へ参加するきっかけの第一歩ともなる大変意義深い企画であったと思います。

ただ、いきなり的一般質問方式でしたので、堅苦しく非常に緊張しました。

今度は、議員全員が出席していただき積丹町の女性が町政に対してどんな考えやアイデアをもっているか気軽に対談出来る企画をと思っております。